

12万株の行田蓮の花 今月中旬から見頃に

行田市・古代蓮の里



古代蓮と展望タワー（写真は昨年）

【埼玉】行田市の古代蓮の里では、市の天然記念物に指定されている行田蓮を中心に、42種類・約12万株の花蓮が6月中旬から見頃を迎える。

同市のシンボルである行田蓮は、1400年から3300年の歴史があるとされる可憐な古の花。一般的な花よりも大きく濃いピンク色が特徴だ。

花蓮の見頃は午前中。蓮の花は早朝に咲き始めには閉じてしまうため、「午前7時から午前9時が一番のおすすめ」と公園の担当者は話す。

昨年は約15万人が訪れ、大きなにぎわいを見

せた。例年、「蓮の育て方講座」や「蓮シャワー体験」も開かれており、家族連れに大人気だ。